

成績評価とG P A制度の導入について

○本校における成績評価について

君津中央病院附属看護学校の単位認定については、学則第4条の3、第4条の4に定めており、本校の定める指導計画に従い受けた授業時間数が、講義、演習、実験及び実技については科目授業時間数の3分の2以上、臨地実習については実習時間数の4分の3以上を満たしている場合に、単位認定試験を受けることができます。

学習の評価はA：85～100点、B：70～84点、C：60～69点、D：60点未満とし、A・B・Cを合格とし、Dを不合格としています。

○G P A(Grade Point Average)制度の導入について

本校では、令和6年度から従来の成績評価に加えてG P A制度を試験導入し、従来の成績評価と合わせて、2つの評価方法で成績管理を行います。

G P Aは、欧米で広く用いられる成績評価指標で、近年国内においても大学を中心に導入されており、履修した全ての科目の成績にG P (Grade Point)が付与され、数値化することにより総合的な成績判断を行うことができます。

得点を評価基準に照らしてA～Dの評定により学習の評価とする従来の評価方法では、得点が100点の場合も85点であっても同じ「A」評価となり、可否区分は両方とも「合格」となるため、この得点がどのような学習の過程による成果であるのか、理解の程度を振り返る機会はほとんどありませんでした。また、学習の過程や理解の程度を大切にせず、合格最低ラインである60点を目指して勉強するケースもありました。

このたび、個々の学生の学修の状況や成果を示す指標としてG P A制度を導入することにより、学生自身が学修到達度をより客観的に把握することができ、課題や目標の設定が容易となることから、結果として学習意欲がより高められ、主体的に学習に取り組まれることを期待するものです。

○本校における科目ごとのG P (Grade Point)の換算基準と評価基準について

G Pの換算基準（成績評価(100点満点)に応じてG P(4.5～0)が付与されます。)

点数	GP	点数	GP	点数	GP	点数	GP	点数	GP
100	4.5	91	3.6	82	2.7	73	1.8	64	0.9
99	4.4	90	3.5	81	2.6	72	1.7	63	0.8
98	4.3	89	3.4	80	2.5	71	1.6	62	0.7
97	4.2	88	3.3	79	2.4	70	1.5	61	0.6
96	4.1	87	3.2	78	2.3	69	1.4	60	0.5
95	4.0	86	3.1	77	2.2	68	1.3	59以下	0
94	3.9	85	3.0	76	2.1	67	1.2		
93	3.8	84	2.9	75	2.0	66	1.1		
92	3.7	83	2.8	74	1.9	65	1.0		

※再試験・再実習科目は、成績評価を一律60点とするため、G Pは0.5となります。

※入学前に他学で修得した単位を本校の単位として認定した場合（学則第14条）は対象外とします。

G Pの 評価基準	4.5～3.5	3.4～2.5	2.4～1.5	1.4～0.5	0
	特に優秀	優秀	到達基準を 満たす	最低限の到達 基準を満たす	不合格

○GPA(Grade Point Average)の算出方法

授業科目の成績評価点数に対してG P (Grade Point)が付与され、G Pに当該科目の単位数を乗じた合計を、履修した単位数の合計で除した平均値とします。

$$GPA = \frac{(GP \times \text{該当科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{履修した科目の単位数合計}}$$

○GPAの算出例

科目名	単位数	点数	学習の評価	GP	GP×単位数
○○○学	1	92	A	3.7	3.7
△△△概論	1	83	B	2.8	2.8
□□□関係論	1	62	C	0.7	0.7
×××総論	1	58	D	0	0
○○○実習	2	98	A	4.3	8.6
計	6				15.8
GPA	(GP×単位数)／単位数の合計 15.8／6 = 2.63				

○成績表について

従来の成績評価表に、科目ごとの「G P (Grade Point)」と、G Pの全体平均である「G P A (Grade Point Average)」および「G P Aによる成績順位」が付加されます。